

# 神戸市民の貯蓄生活について（第二報）

草 間 操

## まえがき

前回の貯蓄生活についての調査の結果、何等かの形で蓄貯している人が、貯蓄をしていない人よりはるかに多いことが判明したのであるが、どんな工夫がなされているかといえ、単に、節約していると答えた人が56.1%で半数以上である。そして、節約することも大切ではあるが、積局的に、収入の増加をはかるように工夫をしている人、即ち、内職又は副業をしている人は、わずかに12.7%である。そこで現在、内職に従事している人達について、種々研究して、なお、今後、発展し得る余地があるものか、どうかを見たいと思って、この調査を試みたのである。

## I 調査の対象並びにその結果

### 1 調査の対象

- a 神戸市を中心に芦屋市、伊丹市、尼崎市に在住している人。
- b 時期は昭和32年7月～8月に配付し、回収完了は11月下旬になった。
- c 次に示すアンケートを求めた。（次頁の表参照）

配付対象は兵庫県立内職公共職業補導所を通じて、家庭内職あっせんをしているグループを紹介していただき、そこえお願いした。

### 2 調査の結果

#### a 調査票配布に対する解答数

配布枚数	600枚
回答枚数	468枚
回 答 率	78%

#### b 年令層について

第1表のように家庭内職に従事している年令層は30才～39才代が最も多く、これは経済から見た家庭生活が活動期に入ったためと考えてよいと思う。即ち、成長する子供の環境整備のために支出が膨脹する。これに対し家庭の主婦が少しでも多く、その収入を獲得しようとするのは当然のことと思う。

家庭内職について の 調 査

ご家族に下さい

住 所	東灘区 兵庫区 灘区 長田区 葦合区 須磨区 生田区 垂水区 其 他	子 供 子供の人数 生活保護	あ り な し (       ) 人 う け て い る う け て い な い	家 計 簿 貯 金 暮 し 向 き	つけている つけていない している していない 大体らくにくらす 収 支 つ づ く な う 借 金 ・ 売 食
本人の令年	満 (       ) 才	内職の種類 <small>内職の次に1日 平均何時間働く か</small>	(       ) 時間 1 日 平 均 (       ) 円	内職について感じておられることを 何なりとこの欄にお書き下さい	
夫	あ り な し	収 入 金 高			
夫の職業	あ り な し	だれの世話 で内職をは じめました か	自分で 漁友会 婦人会 農業会 共励会 町内会 其の他		
夫の職業の 種 類	給 料 生 活 者 商 業 賃 金 生 活 者 工 業 農 林 漁 業 無 職 其 他	収入の使途	この収入だけで生活している 生活の一部にしている 子供の学資にしている 小遣の足しにしている 貯金している		
遺 家 族	あ り な し	内職をする ようになっ たわけ	お金が多いから ひまがあるから 今している仕事が好きだから 其の他		
本 人 が 身体障害者	あ り な し				
本人の職業					
本人の職業の 種 類					

神戸市民の貯蓄生活について（第二報）

c 家庭状況について

家庭の状態は第2表の如く、主人のある一般家庭の主婦が圧倒的に多いことがわかる。そして主人の職業は、第3表からもわかるように俸給生活者が81.7%で大半を占めている。これは給料だけでは、家計をまかなうことがむづかしいのを物語っていると見てよい。

〔第2表〕 夫の有無

次に子供の  
ある人の方が  
子供のない人  
よりはるかに  
多く、子供の

有	り	395名	85%
無	し	72	15%
不	明	1	

〔第1表〕 年 令 層 (468名)

年 令	人 数	%
17 ～ 19才	2	0.5
20 ～ 29	123	28
30 ～ 39	171	39
40 ～ 49	84	19
50 ～ 59	39	8.1
60 ～ 69	13	2.7
70 ～ 79	4	0.7
不 明	23	

〔第3表〕 夫 の 職 業 (395名)

俸 生 活 者	給 賃 生 活 者	商 業	工 業	漁 業	無 職	其 他	不 明
322名	27	19	9	1	1	4	12
81.7%	6.8%	4.8%	2.3%	0.3%	0.3%	1.2%	

人数は2人が

37%, 次に1

人が28%, 3

人が20%の順

になっている。

(第4・5表

を参照。)

〔第4表〕 子供の有無

有	り	358名	76%
無	し	108	21%
不	明	2	

〔第5表〕 子供の数

子供の人数	人 数	%
1 人	100	28
2	131	37
3	73	20
4	36	10
5	10	3
6	6	2
7	1	0.3
不 明	111	

遺家族である人は調査人員中、わずかに14人で3%にすぎない。本人が身体障害者であるのは1%の5人であり、又本職を持っているながら内職に従事している人は3人で0.6%である。その職業は3人とも事務員である。

以上のことでもわかるように、家庭状況は中級以下の給料生活者とみても間違いではなからうか。

# d 内職の種類

第6表①は県の職業補導所の調査によるものであるが、この他ナイロン糸でスウェーターなどの衿のレース編、ネックチーフのふちかがり、手袋のししゅう、毛糸の編物、和裁、お手伝いなどがある。

第6表の②は神戸市の内職あっせん所のあっせんした内職及び所内作業の工賃表である。この表によれば、1日の平均工賃は140円とあったところだが、これはあくまで仕事になった人の工賃であることに注意してほしい。第8表の私の調べた平均工賃91円と大分に開きがある。仕事の時間となれの違いもあると思う。

このうちで、主な仕事の内容を説明してみると、ミシン仕事、春先から夏にかけての仕事で、両面ジャンパー、デシン、ナイロンのブラウス、スーツ、などの高級品から、婦人スカート、事務服、子供服、など

〔第6表〕① 内職の業種と1日(平均7時間)の収入高

業 種	1日平均収入額
ミシン加工	100 ～ 250円
ネックチーフ	60 ～ 100
パール加工	70 ～ 100
千 草 編	70 ～ 120
クリスマス・デコレーション	50 ～ 100
パールししゅう	70 ～ 120
ヘヤーネット	60 ～ 100
ボ タ ン 付	50 ～ 100
紙 袋 は り	60 ～ 150
ビーズししゅう	70 ～ 120
造 花 組 立	50 ～ 100

(兵庫県内職公共職業補導所調査)

〔第6表〕② 内職の業種と1カ月の収入高(1日平均8時間)

業 種	1カ月の収入高	平 均
再製糸の糸の太さ、種類、分け	6,000 ～ 3,000円	5,000円
選別済みの材料の生地の手出し	3,000 ～ 800	1,000
口出したものを糸縫機でワクに縫く	8,000 ～ 3,500	5,500
背広服の仮縫い	10,000 ～ 2,000	4,000
スカーフのフチを手をきするネックチーフのフチ縫い	5,000 ～ 1,000	1,500
作業手袋のかがり	3,000 ～ 1,000	2,000
タビのマタ縫い	9,500 ～ 4,500	6,000
タビの製品を検査して一足ずつセロハン袋に入れ箱につめる	9,000 ～ 4,000	6,000
袋 張 り	3,000 ～ 1,000	2,000
コ ブ 縫 き	1,500 ～ 500	800
全 部 の 職 種 の 平 均	約 4,300 円	

神戸市民の貯蓄生活について（第二報）

の中級の仕事、この仕事が引受けられる人は少なく、ほとんどの人は、シュミーズ、エブロンなどの普通の仕事をしている。

**真珠加工** イブニング・バッグ、イヤリング、ネックレスなどで、イブニング・バッグは布に書いてある下絵の上に、糸で連なった真珠を糸でとめる仕事である。袋に仕上げるのは専門家の仕事で、真珠をたくさんとめるものほど、工賃も高い。真珠の代りにビーズをとりつけるものもある。イヤリング、ネックレスは真珠またはガラス玉を糸でかがって色々な形に仕上げる。

**千草編** セルロイド引きの紙糸、又は紙テープをカギ針で手提カバンに編み、それに装飾品をつける。

**造花** 外国で非常な好評を博しているので仕事の量が多いが、国体向きの仕事である。私の調査したものには、これの仕事をしているところはなかった。

**ノリ張り作業** 袋張りのことで、袋は大小数百種ある。紙袋、セロハン袋などで工賃もさまざまである。

e 内職に費す1日の平均時間は、第7表の如く、5時間が一番多く、次に8時間、6時間、9時間の順で、全体の平均時間数は、約7時間とみてよい。

f 第8表は1日の平均は91円になっているが、最高500円から最低15円に及んでいる。もちろん、仕事の内容と時間とを合せ考える必要がある。

g だれの世話で内職をはじめるようになったかの間に対しては、ほとんどの人が自分

**〔第7表〕 内職に費す1日の平均時間及び人数**

〔第8表〕内職による1日の平均収入高						平均時間	人数	%
収入高	人数	%	収入高	人数	%	1	2	0.4
15円	2人	0.5	150円	33人	7.8	2	14	3.1
20	14	3.3	160	1	0.2	3	16	3.5
30	41	9.7	180	10	2.0	4	38	8.5
40	30	7.1	200	27	6.3	5	83	18.5
50	90	21.3	220	1	0.2	6	67	14.8
60	50	11.8	230	1	0.2	7	42	9.3
70	11	2.5	250	14	3.3	8	75	16.7
80	25	5.9	300	1	0.2	9	64	14.3
90	4	1.0	320	1	0.2	10	44	9.8
100	56	13.2	350	4	1.0	12	1	0.2
120	1	0.2	500	1	0.2	15	1	0.2
130	3	0.7	不明	46		不明	21	
140	1	0.2	平均	91円		総平均時	66.7時間	

でみつけたと答え、わずかに、婦人会、町内会、生活協同組合のお世話になったと答えている。この点でもっと団体的な組織のもとに内職あっせんを行ったなら、強力なものになり、発展もしていくのではなかろうか。

#### h 収入の使途

最も興味のある項目であるが、一番多い%を示したのが、小遣いの足しにしている人で44%、次は生活の一部にしている人28.2%、その次が貯金している人15.1%である。子供の学資は11.3%で、内職の収入だけで生活している人は1.3%で本当に少ない。この結

〔第9表〕収入の使途

収入の使途	人数	%
この収入だけで生活している	6	1.3
生活の一部にしている	127	28.2
子供の学資にしている	51	11.3
小遣の足しにしている	198	44.0
貯金している	68	15.1
不 明	18	

果からみると、内職というものの考え方、家計上の地位、内職に従事している階層などが、従来のものと、かなり変わっていることが明らかにされている。

i 内職をするようになった理由としては、お金がほしいからが40.7%、ひまがあるから30.4%である。自分の趣味と一致した仕事をしている人も24%あり、楽しんで仕事をしながら、しかも収入があるので一鳥二石といっても過言ではなかろう。

〔第10表〕

内職するようになった理由

理 由	人数	%
お金がほしい	186	40.7
ひまがある	156	30.4
今している仕事が好きだから	109	23.9
其 他	5	1.1
不 明	12	

j 家計簿は半数以上の人がつけており、第一報の調査の%とはほとんど同じ率を示している。

〔第11表〕家 計 簿

k 貯金については、第12表の如く、家庭収入のいくらかは貯金している人の方が多い。これも前回の調査と同じ傾向である。

つけている	248人	55.9%
-------	------	-------

つけていない	195	44
--------	-----	----

不 明	25	
-----	----	--

〔第12表〕貯 金

している	291人	64%
------	------	-----

していない	160	35
-------	-----	----

不 明	17	
-----	----	--

1 暮らし向きについては、大体らくに暮している人が53%で、収支つづなう人は45%、借金、売食の人はほとんどない。大変結構なことであるが、正確性については、多少疑問を持っている。

## m 内職に従事している人の感想

最後に、内職について感じておられることを何なりと書いて下さい。とお願いしたところ、次のような感想や希望事項が書かれていた。

- 1) 真珠ししゅうをしている人は殆んどといってよいほどに、きれいな仕事であり、場所を取らないから大変楽しんでやっている。
- 2) 家族一同賛成してくれる。（これも真珠ししゅう）
- 3) 色々な品物を仕上げての喜び、たのしきで自分の仕事に対しての苦しみも感謝している。（編物）
- 4) 日々の生活のはげましになる。（レース編）
- 5) 毎日の生活が計画的になって無駄な時間がない。（鉤針編物）
- 6) 心が引きしまる、よいお友達が出来る。（同上）
- 7) 内職のおかげで主人の給料が有難く、むだなく計画的になった。（洋裁）
- 8) お金の有難みがしみじみ分って、とても有意義に仕事をしている。（洋裁）
- 9) 主人が会社へ出た後、ひまに出来る仕事でよろこんでいる。（編物）

希望事項としては

- 1) 労働時間の割合に工賃が安いので、もっと上げてほしい。
- 2) 同じ仕事を続けてしたい、仕事が変わると手がおくれる。
- 3) 一年中、仕事が絶えないようにしてほしい。

以上のようなことであるが、個人で仕事をするよりも、団体の世話で仕事をした方が賃金がよいと書いた人もあった。収入を得ることと同時に、生活の面でプラスになることがあるのもよろこばしいと思う。

## Ⅱ 要 約

内職といえば、マッチ箱はり、封筒はり、ようじけずり、など、貧しい階級を連想したのは昔のことで、今ではその階層も変わってきている。以下、要約してみると

- (1) 本人については、内職に従事している年齢層は、30才代が一番多い。遺家族、身体障害者は少なく、本職を持っていて内職をしている人はほとんどなく、調査人員中3名であり、その本職はみな事務員である。
- (2) 家庭状況は、夫のある人が圧倒的に多い。夫の職業は給料生活者が80%

〔第13表〕 暮 し 向 き

大体らくに暮す	230人	53%
収支つぐなう	196	45
借金、売食	7	1.6
不明	35	

で殆んどといってもよい。したがって、生活保護をうけている人は1人もなかった。子供の数は3人までが多く、子供の数がふえるほど、内職をしている人の数が少なくなっている。

- (3) 内職の種数は、本文にのべたように17種位であるが、実際はもっと多い。
- (4) 内職に費す1日の平均時間は7時間位であるが、中には15時間もしている人がある。
- (5) 収入高は1日平均91円になっているが、これは県、市の調査と大分ひらきがある。理由として、仕事になれていない人も調査の中には多くあった。
- (6) 収入の支途については、小遣いの足しにしている人が多く、この収入だけで生活している人は殆んどない。
- (7) 内職をするようになったわけとして、お金のほしい人が一番多いが、なお時間的に余裕があるからと答えた人もかなり沢山あった。
- (8) 暮し向きは、大体らくに暮している。収支つぐなう人ばかりで、借金、売食いの人は殆んどない。
- (9) 貯金はしている人の方が、していなう人より多いのは、第一報の調査と同じ結果であった。
- (10) 家計簿もつけている人の方が、つけていない人よりわずかに多い。これも第一報と%は変らない。

## あ と が き

以上は、神戸市及び芦屋、伊丹、尼崎市のごく一部分の調査にすぎないが、これにより、最近の家庭内職の傾向の一たんを知ることが出来たように思う。家庭内職の業種がある程度の技術を必要とするために、生活保護をうけなければならぬような、本当の困窮者には、技術を修得するまでの生活の余裕が許されないためか、従事している人がない。

家庭内職の発展には、社会保障制度の確立が必要なことはいうまでもないが、当面の処置として、内職希望者に特定の技術を教えこむ機関を多くすること。そして工賃を今までより高くして、労働時間にふさわしい収入が得られるようになれば、内職に従事する人も多くなり、技術の向上もはかれるのではないだろうか。家庭経済にプラスになると同時に、個人の生活をも豊かにするような内職であってほしいと思う。

最後に、この調査に御協力下さった、兵庫県内職公共職業補導所の方々、及び内職あっせんのお世話をしておられる方々に心から感謝致します。